

# 営農管理システム導入成功のためのチェックリスト

## 内容

- 導入の目的がはっきりしている。 .....2
- データの活用方法を検討した。 .....2
- データ入力者へシステムの操作方法を教育する。 .....2
- 使用している農機や導入予定農機とのデータの互換性を検討した。 .....2

## 営農管理システム導入成功のためのチェックリスト

### ➤ 導入の目的がはっきりしている。

営農管理システムは、導入したからといって、導入した経営にすぐに便益をもたらす技術ではありません。導入して営農データを収集して、何がしたいのか、その導入目的をはっきりさせた上で導入することが重要です。

導入目的としては、例えば、次のものが挙げられます。

- ①圃場別や作物別に、投下労働時間、資材投入量などを把握したい。
- ②農場全体の作業時間や、作業別、圃場別などの作業時間を把握したい。
- ③GAP 認証取得のために、農場における作業記録や資材投入記録、機械使用記録を容易につけたい。

### ➤ データの活用方法を検討した。

上記目的の①のようにデータを取得することで、圃場別や作物別の製造原価計算にデータを活用できる。

②のように作業データを取得・解析することで、農場全体の作業効率化検討に活用できる。

### ➤ データ入力者へシステムの操作方法を教育する。

スマートフォンやタブレット等でシステムにデータを入力する者に対し、データの誤入力や入力漏れがないよう教育する。

作業記録においては、作業名と作業内容の対応関係を経営内できちんと話し合っておく。

### ➤ 使用している農機や導入予定農機とのデータの互換性を検討した。

営農管理システムで扱いたいデータについて、現在使用しているスマート農機あるいは導入予定のスマート農機とデータのやりとりができるか確認が必要。また、パソコンへのデータ出力が必要な場合には、そのファイル形式についても確認が必要。